



営農
担い手

7/11 事業間連携研修会

7月11日、(株)JOJO・舟木氏を講師とし、JAの営農・経済・信用・共済部門等の連携による総合力を発揮した事業提案を行うためのチーム作りを学びました。

事業間連携においては、目標とする未来を起点に現在に遡って解決の道筋を組立てる「**バックキャスト思考**」や固定観念や常識等を転換・変えていく「**パラダイムシフト**」が重要なポイントであると説明がありました。

本研修では、グループディスカッションやグループワークを取り入れ、JA間の情報交換も行いましたが、今後のチーム運営・総合力向上に繋がることを期待します。



営農
担い手

7/14 石川県集落営農組織JA連絡協議会視察研修会

7月14日、県内の集落営農組織で構成する連絡協議会にて、組織間の情報交換と活動の活性化を目的に視察研修会を開催しました。

今回の視察先は、JA松任管内の「(農)一木」とJA小松市管内の「(農)アイシーコマツファーム」で、それぞれの先進的な取り組みについて研修するとともに、活発な意見交換が行われました。

また、視察後には、農作業安全講習会を開催し、VRでの農作業事故の疑似体験やリスク対策・保険商品などの説明を行いました。



営農
担い手

8/2 TACアグリビジネススクール

今年度の第3回目となるTACアグリビジネススクールを開催しました。

今回は、“農業現場の労務管理”をテーマに、基礎的な知識や実例を用いての雇用方法・トラブル防止などのポイント、働きやすい環境づくりなどについて学びました。

次回9月6日(水)は“直近の農業情勢”をテーマに開催しますので、沢山の皆様のご参加をお待ちしております。



TACパワーアップ大会2023(11月16日(木)・17日(金)於横浜)に向けて、TACの皆様にご作成頂いた活動報告書を全農本所へ提出しました。改めまして、TACの皆様には大変お忙しい中ご対応頂いたことに感謝申し上げます。

今後、活動報告書の審査が行われ、その審査を通過した方は9月26日(木)於大阪で開催される「地区別審査会」へ進むこととなります。

審査結果が出るは8月末です。お楽しみに！

Wワークの取り組みが開始されました！

労働力支援の一つとして、7月15日(土)からJA松任管内の(有)黒沢農場のオクラ収穫・選別作業を(株)金沢村田製作所の社員が土日限定で行う、Wワークの取り組みが開始されました。

作業を行う中で、(有)黒沢農場・黒澤社長からは「現場の従業員の休む時間が確保できて助かった。また、自分も働く環境を見直すきっかけになった。」という感想が、(株)金沢村田製作所・社員からは、「普段の仕事とは全く異なるため楽しい経験だった」「生産者さんの大変さがよくわかった」「オクラやその他の作物の農作業の募集があればまた参加したい」という感想をいただきました。

この取り組みは9月上中旬まで行われる予定で、営農戦略室として引き続き支援するとともに、他地区へも展開できるよう努めてまいります。



7/28 農産物直売所連絡協議会第1回委員会

6月27日の直売所連絡協議会 第1回連絡会議に続いて、7月28日に標記委員会を開催しました。委員会では、JAグループ石川における「国消国産」運動の具体策や農産物直売所のあり方検討の進め方等について説明するとともに、活動を行う上での取組具体策について意見交換を行いました。

今後は、これまで以上に関係各部署各社が一体となった協議会活動を通じて、県産農畜産物の販売拡大による生産者所得の増大と直売所の収支向上に取り組んでまいります。

「国消国産キャンペーン」の実施について

国消国産の認知度向上が求められる中、地元農産物を購入する消費者やJAファンを増やすことを目的に「新鮮で安全・安心な地元農産物の提供」や「旬の食材の提供」など「食」と「農」との関わりの深い直売所とAコープを起点に標記キャンペーンを実施しております。

キャンペーンを契機とした「国消国産」の認知度向上に引き続きご協力頂きますようお願い致します。

★実施期間★

令和5年7月15日(土)
～8月31日(木)



※ 応募チラシが不足する場合は、
営農戦略室までご連絡ください。

7/14 品目別WG(かぼちゃ)先進地視察

7月14日(金)にかぼちゃWG関係者でMVM商事向けのかぼちゃ栽培に取り組んでいる埼玉県を視察しました。

1経営体でかぼちゃを約7ha作付している法人もあり、その経営体は深谷ねぎに加えて、夏はナス、冬はキャベツ・はくさいを中心に栽培し、空いているタイミングでかぼちゃの管理を行いながら、収穫時期のみ外国人労働者を雇って効率化を図っていました。大規模面積で栽培をする一方で、皿敷きや日除けテープをしていない生産者も多く、グランドマークや日焼け果が多く発生していることは埼玉県での大きな課題の1つです。石川県でも品質面の課題はありますが、実需者からの評価向上に向け、これまで行ってきた石川県での栽培指導を継続する重要性を感じました。



7/28 ういずOne現地巡回 開催

7月28日(金)、ういずOne現地巡回の1回目を開催しました。この巡回は、生育状態の確認や栽培のアドバイスを目的に、関係機関で年1回県内すべてのういずOne圃場を訪問します。

当日は、JA小松市管内で、「大玉とまと」を栽培している農業法人団体、JA金沢市管内で「アールスメロン」を栽培している生産者の圃場を訪問しました。特に、アールスメロンの秋作は、現在授粉期を迎えており、授粉作業のポイントや、今後の管理について、実際に作業を行いながら確認することができました。



7/31・8/1 野菜栽培技術研修会(排水対策)

営農戦略室では水田を活用した園芸複合経営を推進しており、園芸作物導入の最重要課題である排水対策に関する指導者の知識向上を目的に、標記研修会を開催しました。

当日は、県農林総合研究センター宮下様による「石川県の土壌と物理性改善について」の講義のほか、排水対策機械に実際に試乗してもらいながら、溝堀機やサブソイラーの施工の難しさを体験していただきました。

今後は、圃場に応じた排水対策の診断を担当者が行えるような研修会を開催していきたいと考えています。



～8月の予定～

日時	内容
8月24日(木)	ういずOne巡回
8月30日(水)	GAP指導者セミナー
9月6日(水)	TACアグリビジネススクール「直近の農業情勢」

【お問い合わせ先】 JAグループ石川営農戦略室

TEL : 076-240-5051

FAX : 076-240-9120